

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境課		■担当係	環境エネルギー係
■評価事業名称	スマートコミュニティ導入促進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 132	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市総合計画、北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	市の再生可能エネルギー比率を高め、非常時の避難所の電源確保を行い災害に強い街を目指す。メガソーラー整備及び運営・本庁舎へ蓄電池、EV車、急送充電器、LED照明を設置しBEMSを通じて制御する。北上陸上競技場へ太陽光発電システム、蓄電池、LEDソーラー街路灯を設置する。地区交流センターにEV車、充電器、給電制御装置を設置する。オフィスアルカディアに太陽光発電システム、蓄電池を設置する。・上記の分散電源をCEMSを構築し最適制御を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	スマートコミュニティ導入促進事業	市民、職員、企業	①本庁舎エネルギーマネジメント設備設置工事の発注、完了。 ②オフィスアルカディアに太陽光発電システム、蓄電池を設置。導入負担金の手続き。	①本庁舎エネルギーマネジメント設備設置工事の発注、完了。 ②オフィスアルカディアに太陽光発電システム、蓄電池を設置。導入負担金の手続き。③北上陸上競技場に設置した太陽光発電施設で系統線に逆潮流を防ぐため逆電力継電器を設置。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	1,803	275	121,001	242	
人件費	6,261	3,283	5,686	3,574	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,064	3,558	126,687	3,816	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	メガソーラー整備・運営事業	マスタープラン策定	発電所建設			庁舎建設予定地(約6.6ha)に大規模太陽光発電設備を設置する。発電規模は2.9Mw。災害による停電時には、パワーコンディショナーから電気を取り出せる機能を有する。地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)と接続し、発電量情報の

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

					収集・監視を行う。
02	市庁舎エネルギーマネジメント事業	マスタープラン策定		設計(27年度工事) 工事完了	本庁舎に蓄電池(300Kw)、EV及び充電機を設置する。CEMSと接続して、室内空調機・照明機器の制御を行う。給電制御装置により、蓄電池、EV用充電器、太陽光発電システム(GND事業で整備)の運転制御の最適化及び災害時の給電制御を行う。江釣子庁舎、和賀庁舎にも電力制御装置を整備して、電力消費の「見える化」を図る。
03	ソーラーパーク整備・運営事業	マスタープラン策定		工事完了	陸上競技場のスタンドに太陽光発電システム(30Kw)と蓄電池(15Kw)を設置する。給電制御装置により太陽光発電システムと蓄電池の運転制御及び災害時の給電制御を行う。LED街路灯をエントランス及び広場周辺に20基設置する。
04	防災拠点機能強化事業	マスタープラン策定		工事完了	第1次避難所の地区交流センターにEV及び充電機を設置する。外部供給装置によりEVから1.5Kwの電気を取り出せる機能を設ける。
05	オフィシャルカディア北上 太陽光発電等整備・運営事業	マスタープラン策定		工事完了	オフィスプラザに自家消費用の太陽光発電システム(20Kw)と蓄電池(15Kw)を設置する。オフィスプラザ、基盤技術支援センター、北上高等職業訓練校、貸研究工場棟に電力測定装置を導入し、電力消費量の「見える化」を図る。
06	CEMS整備・運営事業	マスタープラン策定		事業者が変更	地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)を中心に、市内に整備される分散電源の最適制御を実施する。施設の使用電力の20%を再生可能エネルギーとすることを定め、その目標を達成することを定め、その目標を達成することを目的とした設備制御及び運転制御を行う。Step1では北上本庁舎、Step2では江釣子・和賀庁舎及びオフィシャルカディア北上へと拡張する。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■ 目標達成状況</p> <p><input checked="" type="radio"/> A. 順調</p> <p><input type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>マスタープランに掲載していた事業が完了</p>	<p>問題点・課題等</p>
--	---	----------------

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了